

いじめ・不登校・問題行動等の未然防止 ～新型コロナウイルスに負けないために～

西部教育局
お役立ち情報
令和2年 6月号

新型コロナウイルスによるストレスには、以下のような特徴があります。

- ・不確かな情報が流れやすく、不安や緊張感が高まりやすい。
- ・衛生面で過度に神経質になりやすい。
- ・行動制限等により、生活リズムが乱れたり、友人等とのつながりが切れたような気になりやすい。

まずは、チェックしてみましょう

【小学校】

- イライラしている
- 普段以上に甘える
- そわそわと落ち着かない
- 幼い頃の癖がでる
- 給食を残すことが多くなる
- 忘れ物をよくする
- 友達と遊ばなくなる
- 教師の注意をひきたがるなど



最近、
こんな子供たちの姿は
ありませんか？



【中学校】

- 体調不良を訴える
- 感情の起伏が激しい
- 「夜寝れない」と言っている
- 健康を気にかけない
- 給食を残すことが多くなる
- やる気が見られない
- 友達から離れようとする
- 様々な情報に神経質になるなど

ストレスを感じる子供たちへの対応（例）

対応①

子供に正しい情報を伝える

- ★正確な情報（信頼できる情報）を得られるように手助けをする。
- ★「自分の健康は自分で守る」という意識を持てるような話をする。
- ★人の持っている強さや回復力も伝える。

特に子供はテレビやネットなどから繰り返し過激な情報を聞くことで、心理的な影響を受けています。**情報に気持ちが振り回されないようにすることが大切です。**

対応②

子供の気持ちを尊重する

- ★子供の話を聞き、ニーズや心配事を確認する。
- ★不安や悲しみ、苛立ち、怒りなどがあるのは自然であることを伝える。
- ★子供の意見に「どうしてそう思うのか」と尋ね、子供の思考プロセスを理解しておく。

子供たちの話をじっくり聞き、子供たちが不安や悲しみに気付いて誰かに話したり、自分の感情を表現したりできる環境を整えましょう。

また、状況に応じて、**養護教諭やスクールカウンセラーと連携したり、医療機関等の専門機関へ相談することも大切です。**

【その他の効果的な関わり（例）】

- ・子供のリラックス法を教師と一緒に考える・・・読書、音楽鑑賞等
- ・自宅での役割を保護者と一緒に決めて、達成感や責任感を育む・・・ごみ捨て、清掃等

先生方自身も対応等で頑張りすぎて、気付かないうちに疲れやストレスがたまっています。やる気が出なかったり、イライラしたりした時には、自分を責めたり、一人で抱え込んだりせず、早めに管理職や周りの同僚、専門機関に相談しましょう。

～参考資料～

【小・中・高等学校教師用】 保健教育指導資料（日常の保健の指導）

新型コロナウイルス感染症の予防

～子供たちが正しく理解し、実践できることを目指して～

本資料の活用について

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子供たちが健康で安全な生活を送れるよう、各学校において指導の充実を図ることが求められています。
そこで本資料では、子供たちが新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解し、適切な行動をとれるよう、日常の指導における「ねらい」や「指導内容」を具体的に示しました。各学校においては、これらの指導例を有効に活用し、小・中・高等学校それぞれの子供たちの発達段階を踏まえた指導を工夫されまじようお願いします。

- 指導例① 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策
- 指導例② 感染症の予防1（手洗い）
- 指導例③ 感染症の予防2（咳エチケット）
- 指導例④ 感染症の予防3（3つの密）
- 指導例⑤ 正しい情報の収集
- 指導例⑥ 新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見

令和2年4月
文部科学省

